

ALLOY 601 (UNS N06601)

特性

Alloy601は1205℃までの高温酸化雰囲気能耐え、耐浸炭性に優れています。耐酸化性は主としてクロムによって与えられますが、この合金は更に比較的高いアルミを含んでおり、このアルミがより耐酸化性を向上させています。成形加工や溶接も容易に行えます。

化学成分(%)

	Ni	Cr	Fe	C	Mn	Si	Cu	Al	Ti	P	S
min	58	21	bal					1.0	0.3		
max	63	25	bal	0.10	1.5	0.5	1.0	1.7	0.5	0.02	0.015

機械的性質/物理的性質 比重 8.1g/cm³ 融点 1320~1370℃

0.2%耐力(N/mm ²)	引張強(N/mm ²)	伸び%(A5)	硬さ(HB)
205	550	30	≤220

(板—焼鈍)

耐食性

硫酸	塩酸	硝酸	アルカリ	塩類	海水
△	×	△	○	○	△

○ …良好 △…普通 ×…不可

該当規格

UNS N06601	JIS NCF601				
	板	棒	溶接管	シームレス	鍛造
ASTM	B168	B166		B163/167/829	
ASME	SB168	SB166		SB163/167/829	

用途例

熱処理部品、熱交換器、航空機エンジン部品、加熱炉、熱処理炉、熱電耐保護管、グロープラグ、ガソリンエンジンサーマルリアクター、石油化学工業ヒータ など。

本データシートは参考資料であり、数値を保証するものではありません。